

第67回日本小児神経学会報告

2025年4月 米子



ADHDの薬（コンサータなど）

日本では基本6歳からだが、欧米では4歳から処方されている



熱性けいれんと二相性脳症

最初の症状は発熱とけいれん。ほぼ同じ。経過を見ないと診断できない。
早期にステロイド等の治療を開始したほうが、早く軽快するのか最終診断は熱性けいれんの比率が高まる。

発達障害（神経発達症）

今でいていたいことに手を貸して一緒にすることが大切。
それでもダメなら頑張らず、あきらめる。

小児慢性特定疾患医療費助成制度

18～20歳までが対象だが伸ばそうという話も出てきている。昔は早期に死亡していたのが現在は長生きするようになったので検討されている。

校内暴力行為

小学生で増加、中学生では減少、全体としては横ばい。

家庭内の虐待

子から親への虐待が増えている。（ゲーム機を取られた等で）

少年の刑法犯は減っている。少年院収容者も減っている。
少年院職員が将来のことを考え離職する傾向にある。



平井こどもクリニック